

よかとこ通信

2015年6月号

O2Farm【オーツーファーム】 大津耕太&愛梨
〒869-1501 熊本県阿蘇郡南阿蘇村西井 587
Tel&Fax : 0967-62-3730
E-mail: mail@o2farm.net
O2FarmWeb : www.o2farm.net

梅雨に入り、ジメジメした季節を迎えておりますが、皆さまお変わりありませんでしょうか。先日は全国ニュースで「南阿蘇村全域に避難勧告」が報道されたとのことで、たくさんの方からご心配のメールやお電話を頂きました。本当にありがとうございました。おかげさまで田畠も家族も皆無事でした。むしろ大雨の予報を聞いて前日にダム湖を建設していた子供たちが大喜びしていましたほど。そんな大雨に見舞われながらも、O2Farmは1年で最も忙しい時期を何とか乗り越えることができました！稻刈りまではもちろん毎日やることがあります、これから先は稻が元気に成長してくれるようサポートするの農家の役割。まずはその状態にするまでが大騒動でした。



先月のお米発送日に全ての田植えが終了。今年の田植えは、研修生のエースケと、援農隊のケイちゃんが大活躍してくれました。休む間もなく、田植え直後からアイガモやコイを田んぼに入れるための準備に入りました。田んぼに支柱を立ててネットを張り、カラスなどの外敵にやられないよう、テグスを張り巡らせます。コイを入れる田んぼは、ネットこそ要らないものの、釣糸のようなテグスをしっかりと張っておかないと、カラスだけでなく、サギやネコにやられてしまします。この準備に手落ちがあると、せっかくアイガモやコイがやってきても、除草の効果を出してくれませんから、死活問題。



1枚1枚の田んぼでぬかりのないように準備を進めていきます。

田んぼの準備が整うまで、しばらくアイガモはビニールハウス内につくった小屋でぬくぬくと過ごしますが、2~3週齢になるといよいよ田んぼデビュー。水鳥のくせに最初はおっかなびっくりしている姿が可愛らしく、1羽、また1羽と広い世界に出ていく姿もまた何とも言えませんが、集団行動を覚えない外敵にやられてしまうので、気が気じゃありません。案の定、カラスにやられたりイタチにやられたりするアイガモもいました。生まれつき体が小さくて、集団についていけない雛はどうしてもやられてしまうのです。悔しいですが、人間にも生まれつき弱かったり小さかったりする人がいるように、ある程度は仕方がないと諦めるしかありません。残る精鋭部隊たちは、毎日せっせと田んぼを走り回って活躍してくれているところです。



コイは養鯉場（ようりじょう）で生まれたコイたちを買っているのですが、今年はどうしたことか、1枚の田んぼに入れたコイが数日後に大量死。こんなことは初めてです。はっきりと

した原因は分かりませんが、どうやら田んぼに入れた翌日に真夏日となったことが原因で、地中の有機物が発酵して出てきたガスにやられたか、急激に水温が高くなりすぎてしまったか。他の田んぼのコイは生き延びたことを考えると、田んぼの形状にも関係があるようです（その田んぼだけとても変わった形をしていて、水の流れが良くなかったという予測）。悲しんでいても仕方がないので、慌ててコイを追加しました。コイを入れている田んぼと入れていない田んぼの違いがはっきり分かる写真

が撮れましたのでご紹介します。コイが泳ぐことで水が濁り、雑草の成長を抑えてくれるという訳です。ただし、浅いところがあると行ってくれないので、そこは結局わたしたち人間が草取りをするハメとなります。農薬を使わない、というのは、何らかの方法で雑草を抑えなければいけない、ということですから。頑張ります。



5月下旬には、慶應大学の留学生たちが阿蘇へやってきました。イラン、ヨルダン、韓国、中国からの留学生と日本人学生の数名が、「持続可能性」と「生態系サービス（人間が生態システムから享受している様々な恩恵）」をテーマに、2泊3日のスタディーツアー。初日の午後に私が英語で講義をしたのですが、せっかくなので息子たちが通う小学校でやることに。先生が「ぜひこういう機会は子供たちにも同席させたい」と仰ってください、目をぱちくりとさせながらも一生懸命、私の話に耳を傾けてくれました。

農業とは全く関係ありませんが、めでたいニュースが多い1か月でしたので、大津家の出来事をいくつかお知らせします。この1か月で結婚記念日を迎え、サンタローが7歳、私は41歳に。女性経営者の団体から「社会貢献賞」なるものを頂き、県内のニュースにも流れました。スーパー7歳児の讃太郎は、つい先日、阿蘇郡市のわんぱく相撲大会に初出場で初優勝！田畠で鍛えた足腰を武器に、久しぶりの日本人横綱を目指すのもいいかもしれません（半分本気）。稻穂が描かれた化粧まわしでもつけてもらいましょう（けっこう本気）。



梅雨の間も、稻はどんどん成長します。雑草もどんどん成長します（苦笑）。植物にとってはむしろ恵みの雨ですから。そして梅雨が明けたら本格的な夏が始まります。今年の夏は4人目の出産と言う大きなイベントを控えているので、農作業員としては戦力外ですが、稻刈り前には皆さんに嬉しいご報告ができるといいなと思っています。組合主催のアイガモツアーや、7月19日に開催することが決まりましたので、ぜひぜひお誘いあわせの上いらして下さいね。皆さまどうぞお元気で！